

# 南部ゾーン

## 1. 藤心界限・水(小川)と緑(森林)を内包する調和のとれた居住地域



1-1 逆井藤の台の住宅  
真壁風の建物デザインや通り毎に異なるデザインの外構が特徴的な住宅地です。



1-2 カタクリの群生地  
北側斜面にはカタクリが群生し、開花時には大勢の市民が訪れます。



1-3 大津川支流付近  
周辺には市民農園や農地が広がります。



1-4 慈本寺  
石門と参道脇に茂る木々に風格が感じられます。

## 2. 逆井・南増尾界限・木漏れ日がまぶしい森林リフレッシュ拠点



2-1 東武野田線  
森の中を抜けていくのどかな景観です。



2-2 観音寺  
牡丹の名所として知られています。山門は藤心陣屋内のものを移築しています。



2-3 逆井の立派な蔵  
なまこ壁の蔵。この周辺には畑、それらを縁どる樹林や、農家が残ります。



2-4 南増尾小鳥の森  
緑豊かな自然の雑木林による緑地で、野鳥も訪れます。



2-5 デーダラボッチの弁天様  
デーダラボッチ(巨人)の左足跡とされる池があります。



2-6 南部公園  
周辺の土南部小学校や土南部保育園の子供たちの遊び場としてにぎわう公園です。



2-7 並木通り  
南部公園前は、両側に樹木が茂り、木漏れ日の心地よい道となっています。



2-8 逆井のピオトーブ  
大津川の浄化施設。ピオトーブを兼ねた調整池。

## A その他・印象的な点景



A-1 増尾台の優良老人ホーム  
柱や屋根などが重厚感を感じさせる近代建築風の建物です。



A-2 増尾台の店舗  
色彩使いと、アクセントとなる緑とテントが目を引くお店です。



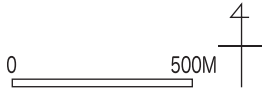
A-3 藤心の道標  
路傍の道標が歴史ある道であることを物語ります。



A-4 酒井根下田の森  
谷津田を蘇らせた田んぼを守る懐かしい「かかし」です。



# 南部ゾーン



## 5. 中原・つくしが丘界隈

東武野田線の駅を中心に、戸建て住宅地が広がる界隈です。市街地としてほぼ成熟していますが、その中にまとまった平地林も見られます。  
市街地の中にあつた広大な牧場跡地は、中原ふれあい防災公園として整備されました。増尾駅前には商店街と桜並木のほのぼのの通りが伸びており、地域に親しまれています。

- 交通アクセス
- ・ 新柏駅または増尾駅下車



## 3. 光ヶ丘・廣池学園界隈

## 4. 酒井根界隈

凡例 注※1 より良いまちづくりを目指し、地区のルールを(地)地区計画、(建)建築協定、(緑)緑地協定などに定めている地区です。  
注※2 平成18年に実施した景観探検隊(沼南地域ワークショップ)の活動実績に加え、景観表彰制度の公募作品や事務局のフィールドワーク等により、今後景観資源として活用される見込みです。  
注※3 「○」はジャンボタクシーのバス停、「●」はそれ以外のバス停です。

